

シルバーくだまつ

星のさと

NO.64

令和2年1月15日

編集発行 / 公益社団法人下松市シルバー人材センター広報委員会 下松市潮音町2丁目16-8 TEL (0833) 44-2600 印刷 / 富田印刷株式会社



新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございいます

皆様方には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

下松市シルバー人材センターにおかれましては、就業の機会をご提供すること、地域社会の発展に寄与されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

さて、我が国では少子高齢化に伴う労働力人口の減少により深刻な人手不足が続いており、本市においても重大な課題であります。

このような中、高齢者の就業による地域社会への貢献を推進されている貴センターの役割は重要であり、今後更なる発展を期待しております。

本市におきましては、市制施行80周年という節目の年に人口が過去最多を記録するなど、近年人口の増加傾向が続いております。今後も多くの方が安心して暮らせる「住みよいまち」づくりに全力で取り組んでまいりますので、皆様のなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が下松市シルバー人材センターの皆様にとって幸多き飛躍の年となりますことを祈念いたしました。年頭のご挨拶といたします。

令和二年 元旦

下松市長 国井益雄

明けましておめでとうございいます

皆様方には、明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

下松市シルバー人材センターにおかれましては、設立以来、市民の皆様から親しまれるセンターとして発展してこられ、地域社会に大きく貢献しておられますことに、心から敬意を表し感謝申し上げます。

どうか皆様には、今後とも、会員の確かな知識、技能、経験を生かした幅広い事業を展開していただくとともに、高齢者の社会参加の拠点として、住みよさが実感できるまちづくりの一翼を担っていただきますようお願い申し上げます。

市議会といたしまして、高齢者福祉のさらなる向上と地域社会の活性化に努力を重ねてまいります所存であります。

結びに、下松市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様のご健勝・ご多幸を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和二年 元旦

下松市議会議長 中村隆征

新春を迎えて



理事長 松原隆士

明けましておめでとうございいます

会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

当シルバー人材センターは、厳しい社会環境の中ではありますが、市行政をはじめとする、関係各機関のご指導・ご支援を賜り、また市民の皆様や地元各企業からも、引き続きご理解・ご協力を賜りまして、今日まで着実な歩みを進めてくることが出来ました。心より感謝申し上げます。

今後とも、事業の推進につきましては、お客様のニーズにお応えするための、会員の加入促進を図ることと、事業に対するご理解とご支援がいただけるよう、一層の努力が欠かせないものと思っております。

景気は緩やかな回復基調にあると云われておりますが、シルバー人材センターは知恵と経験を活かした、地域社会を支える貴重な労働力として期待されております。

皆様方におかれましては、本年も健康管理、安全就業、交通安全に十分留意され、健康で明るい街づくりに、ご尽力を賜りますよう、よろしく願いたします。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和元年度上期事業実績

我が国の経済は、高めの成長の反動や消費増税の影響で短期的には減速感が強まる可能性があるものの、内需にけん引される形で緩やかな景気回復が続く見通しといわれています。

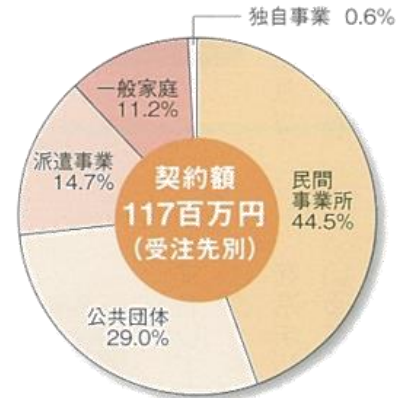
輸出については世界景気が全般的に勢いを欠くなか、力強い回復は期待薄といわれていますが、他方、企業の設備投資は、人手不足や働き方改革を背景とした構造的要因がもたらす需要の強さに支えられ、増加基調が続く見込みといわれており期待されています。

こうした中、当センターの令和元年度上期の契約金額は、民間事業所の適正就業の推進や定年制延長に伴う継続雇用が確立された事によって、新たに加入する会員が減少しているものの、前年度並みを確保することができました。

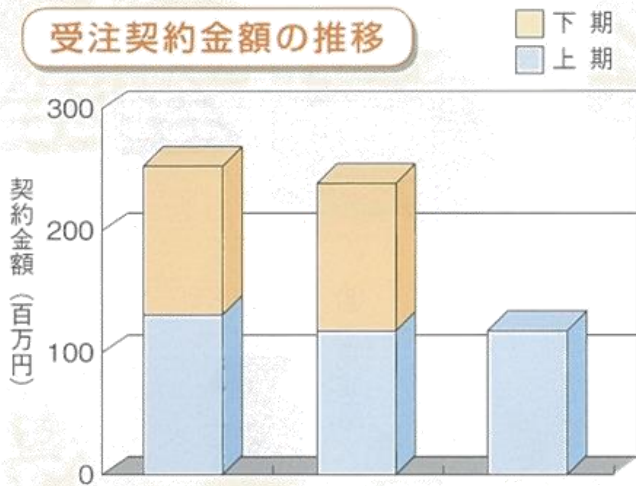
また、会員数は高齢化に伴う病気や介護などの理由による退会が続いていることから、減少傾向となっておりますが、今年の3月時点よりは、僅かですが増加しています。

今後も、シルバー事業が地域に果たす役割を再認識する中で、会員・役職員が一体となり事業の推進に向けた努力が必要となります。

受注先別契約金額の割合



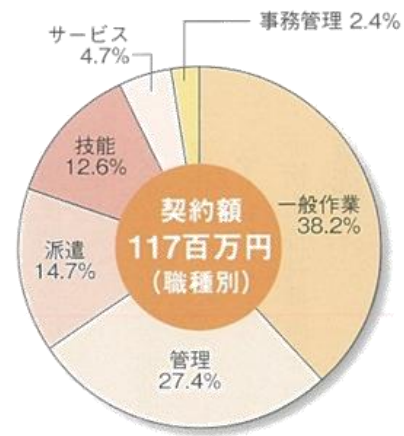
受注契約金額の推移



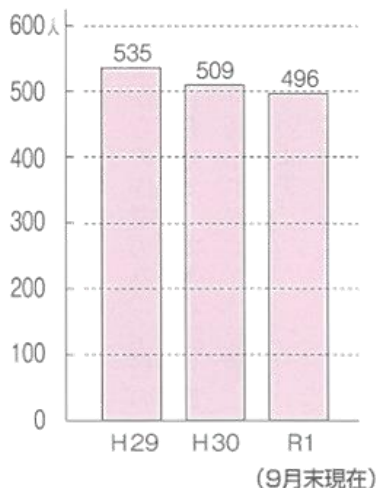
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
上期受注額	130	117	117
下期受注額	121	120	-

(単位：百万円)

職種別契約金額の割合



会員数の推移



謹んで新春のお慶びを申し上げます

敬	事	理	常務理事	理事長
藤井直子	藤本泰延	安田務	松浦仁志	内山絃一
岡本誠治	吉山俊則	波多野悦子	松永静子	吉次敦生
村岡博徳	松原隆士			

職群班だより

独自事業スイーツ班

独自事業スイーツ班は、平成19年ワークプラザ完成に伴い、お菓子作りとして6人で立ち上げました。

周南保健所にて、認可を受け、マドレーヌとクッキーを製造販売しています。工程を簡単に紹介いたします。

① マドレーヌとクッキーの生地をミキサーで作る。



② マドレーヌは、生地をカップに量り、アーモンドをトッピングする。

③ マドレーヌを鉄板に並べる。



④ クッキーの生地を形・種類に替えて整形し、鉄板に並べる。



⑤ オーブンに入れる。



⑥ マドレーヌとクッキーを冷ましているところ。



⑦ 袋に入れる



⑧ 完成品



主な活動

- ・シルバー人材センター定時総会記念品（マドレーヌ）
- ・家事援助班交流会年3回（マドレーヌ）
- ・『安全・適正就業推進大会』スタートピアのロビーにて販売（マドレーヌとクッキー）
- ・下松市福祉健康まつりに出展販売
- ・一般からの受注等

受注を受けて

材料の手配・段取り・会員同士の日時打ち合わせ等、就業しながらの作業の為、全員の都合を合わせて、できる限り賞味期限を長くするように考慮し作業しています。

♪お菓子作り

参加できる

ありがたさ・・・



最近では、長い時間の作業は疲れて、愚痴も出ますが、出来る事の有難さを、実感しながらボランティア精神で頑張っています。



久保 3班
築山 峰子

私にとって6回目の子年です。

子年といえば、私、長男、孫と三代子年です。家族に3人同じ干支が居ると縁起が良いと言いますが、今だに、その兆しはありません。でも皆が平穩無事に暮らしていることが良いことだと思っています。

私が会員になって約10年、庭の草取り、家の掃除、スーパリーのカートの整理等、色々やりました。今の仕事に就いて8年、職場の方々にも恵まれ楽しく就業しています。仕事は一人ですので誰に気兼ねすることもなく、マイペースでやっています。「息抜くことが生き抜く道」お坊さんの言葉です。力まず自然体で今年も歩いて行きます。



下松 3班
田原 實

「ネズミは寝ず身」とも言われ、真面目にコツコツと動き回るイメージのある干支頭に生まれて今日まで、仕事や趣味、娯楽に寸暇を惜しんでよく動き回ったものだと我ながら感心しています。

子年生まれは財を成すとの説もありますが、こればかりは言葉通

子年生まれの一言



末武 7班
出尾 和子

六十代でシルバーに入会し、布俱樂部に所属し、早や七十代を迎え、日々月日のたつのが早く感じられます。布俱樂部も、材料の値上がりや、小物作りもだんだんと参加人数が減り大変ですが、皆で知恵を出し合って楽しくできるよう願っています。

又、日常では自分の足で歩いて楽しめるのは今だけだと一週間忙しく

りには。でも動き回ったおかげで多くの方々と親しくなれました。シルバーに入会してからの8年間では、門松、輪飾りなど正月飾りの製作にも携わり、メンバーが協力して物づくりをする連帯感からの強い絆も生まれました。多くの友・知人、これは金銭の財に勝る私の大きな財産とも言えます。これからも健康に留意し、「真面目にコツコツ」を人生訓として過ごし、8回目の年男を目指したいと思っています。

楽しんでいきます。ポウリングはグループでハンデイをつけてゲームを楽しんでいます。コーラスは素敵な先生の御指導で、なつかしい歌や新しい歌、童心にかえて歌っています。運動も最近始めたヨガ、ゆる体操、卓球、健康体操、ウォーキングとか忙しく過ごしています。たくさんの人達と出会い、この年で教えられることが多いです。シルバーでやっておられる田引先生の体操は大好きです。毎回楽しみです。健康第一、感謝して一日を終えるのが、私のモットーです。



末武 3班
高橋 輝吉

シルバー人材センターに入会して9年。子供用プールの監視員や健康増進室の管理人を経験し、現在は、正月飾り製作班でお世話になっていきます。

私が心がけていることは、正月飾りを買って下さるお客様に対する感謝の気持ちを大切に、お客様の幸せを願い、心を込めて作るということです。

輪飾り、門松、しめ縄も、みんなで助け合わないと完成しません。また製作には危険をとまなう作業もあります。シルバー人材センターの基本理念でもある「共働・共助」を大切に、作業に取り組む毎日です。これからも、お客様ファーストで、正月飾りを作っていきたいと思っています。



福祉健康まつり

11月24日(日)「福祉健康まつり」へ参加して今回で2回目になります。この日は「時々雨」という天気予報の中、開催されました。

9時過ぎ開会行事が始まると、スターピア前の広場は、人で急に狭くなったように感じられました。

シルバー人材センターのテントは、広場の西側に陣取られ、広報・木工・正月飾り・スイーツ・小物などの班が、参加しました。

「師走も近くなりましたし、正月飾りでも」とか「おいしそうですね」「かわいいね」「この椅子便利だね」と夫々テントの中をのぞきに來る人が多くなりました。

その中で、今回特に人気が高かったのは「無料ポップコーン」でした。「えっ?ただ?もらっ



ていいの?」と不思議そうに並ぶ者、「早くつくって!」とせがむ子どもたち。幼児から高齢者まで、多いときは10人近い列ができ、コーン(5

袋)が瞬く間になくなりました。まさにヒットイベントで、来年も、きっと多くの人が並ぶであろうと関係者の言でした。

昼前から小雨がぱらつき始め、客も遠のいて、完売とまではいきませんでした。が、午後は、雨も止んで、広場は再び活気を取り戻しました。

テントの中では、会員が、終始笑顔で対応している様子が印象的で、笑い声が絶えない和やかな祭りになりました。

普及啓発奉仕活動

10月19日(土)、全国シルバー人材センターの事業普及啓発促進月間に、当センターではボランティア活動として、道路清掃を主体に実施し、68名の方が参加されました。

当日は曇天でしたが、この時期暑くもなく気分は快適でした。松原理事長の激励の挨拶後、それぞれ3班に分かれスタート。最初はみなさんお互い緊張して、ごみを黙々と拾っていました。が、和やかな雰囲気になるのに時間はかかりませんでした。

やがて、台風15・19号、日本シリーズ、ラグビーなどいろいろな話題が出ていて、和やかなゴミ拾いになりました。



途中2か所に休憩場所がありました。が、みなさん休むこともなく、あたりのごみを拾っていました。

大通りは、さすがに空き缶等はありませんでしたが、人通りの少ない箇所では、あつという間に袋いっぱいになりました。ペットボトルがほとんどでしたが、今やこれも大きな社会問題になっていて、みなさんそれを現場で体感されていたようです。実にさわやかで実りのあるボランティア活動でした。

令和元年度 安全・適正就業推進大会

去る7月12日(金)、スターピアくだまつ展示ホールにおいて会員100名参加のもと、盛大に開催されました。

下松市健康増進課の柳井係長(保健師)を講師に迎え、「健康管理とケンシン」と題してご講演いただきました。

日常の健康管理に役立つ情報など参加者は熱心に聞いておられました。

続いて、下松警察署交通課の松橋警部補から「高齢者の交通安全」と題してご講演をいただき、県内や市内の交通事故状況や事故防止のためのアドバイスなど交通安全に対する意識を改めて考えるきっかけとなるものでした。

また、第2部のパネルディスカッションでは、「就業中に起きるヒヤリハット」をテーマに会員の末廣栄司さん、林武敏さん、原尚子さんが就業中に経験したヒヤリハットを楽しく伝えていただき、「ああ、そうじゃね」と云った声も聞こえるほど盛り上がり、大変勉強になった大会となりました。



お知らせ

会員研修会及び親睦会

今年度の会員研修会は、次の通り開催されます。お繰り合わせの上、ご参加ください。

- ▼日時 令和2年2月11日(火)
- ▼場所 ほしらんどくだまつ
- ▼会費 3,000円
- ▼申し込み 申込書又は電話で

会員の皆様へ



「会員紹介カード」でご家族やお知り合いの方をご紹介ください。

シルバー人材センターでは60歳以上の元気で働く意欲のある方が、年齢にかかわらず生涯現役で働けるよう事業拡大を目指しています。

しかしながら、定年延長や定年後の再雇用制度の浸透、高齢者の意識変化などを要因として、会員数は伸び悩んでいます。

※「会員紹介カード」により、入会された場合には、紹介者(シルバー会員)の方にお礼の品(クオカード500円分)を差し上げます。

(公社)下松市シルバー人材センター

第11回 シルバー人材センター グラウンドゴルフ大会

絶好の秋晴れの下、11月1日(金)、下松ふ頭公園において第11回下松市シルバー人材センターグラウンドゴルフ大会が開催されました。多くの一般市民の参加も含め176人のプレイヤーが技を競い、終始和やかな雰囲気の中プレーされておりました。

また、会場では、就業開拓委員がシルバー広報チラシの配布を行いました。



表紙に寄せて

正月飾り班の作業が、新年を迎える真つただ中、門松の設置作業が、実施されていきました。

このほか、正月飾り・荒神飾り・大型のしめ縄づくりも忙しく、新しい年をめでたく迎えて頂くため、全員頑張っておられました。

ここ2、3年で、新規会員の加入もあり、新戦力が大きな力となっているとの事でした。日本の良き伝統をいつまでも、守り伝えて頂きたいと思えます。

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、元号が、平成から令和と変わり、世の中も何か慌しい一年となりました。

本年度から、全国シルバー100万人計画達成を目標に、「会員紹介報奨金」制度もスタートの予定です。そんな中、下松市では、令和2年度中には、65歳以上の高齢化率が、30%と予想されています。

公益社団法人として、益々、市民の皆様方と近いシルバー人材センターを目指し、活動して行く必要があります。

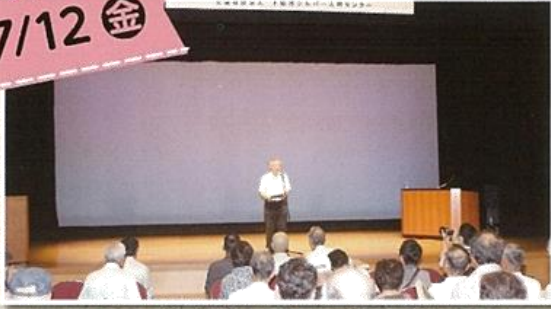
これからも、「星のさと」は、会員相互の情報誌として皆様方からの、様々なご意見を頂き、読み易く、親しみ易い広報誌をめざし頑張っ行ってきたいと思えます。

広報委員一同

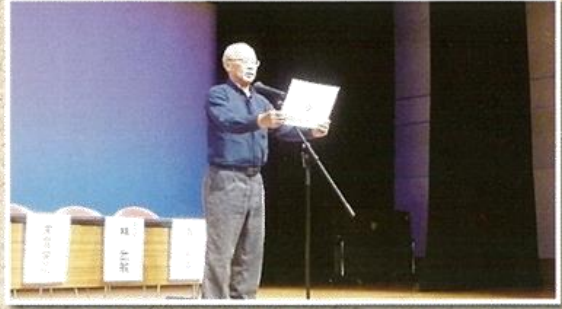
カメラルポ

7/12 金

安全・適正就業大会



スターピア展示ホールでの理事長挨拶



末廣さんの「安全宣言」にて大会を終了いたしました

10/19 土

普及啓発奉仕活動



下松市役所 玄関前ホールでの開会式



3班に分かれて、市内幹線道路の清掃に出発

11/1 金

グラウンドゴルフ大会



絶好の晴天の中、好プレーの連続となりました



村岡常務理事の市民憲章唱和が有りました

11/24 日

福祉健康まつり



本年は、新しく「ポップコーン」を無料配布いたしました



時折小雨模様でしたが、まずまずの開催となりました